

無垢フローリング(釘打用)の施工方法

施工前の注意

1. 保管する場所は湿気の多い場所を避け、極力直射日光が当たらないようにし、水平に置いてください。
2. 施工の数日前に梱包から開け、周囲の環境になじませてから施工を行ってください。
3. 天然の無垢製品ですので、多少色柄が異なります。必ず施工前に仮並べを行い、色柄あわせを行ってください。その結果、段差・反り等が生じた場合はそのまま施工せず、切りまわしまたははねを行ってください。
4. 問題がある場合は施工せずに、弊社に連絡してください。施工後のクレームは原則としてお受けできません。

施工上の注意

無垢フローリングは、空気中の水分を吸収・発散する働きがあります。その結果といたしまして「膨張」「収縮」等が生じ、施工状況によっては不都合を引き起こす場合があります。より良い仕上がりにするために、以下の要領をご参照のうえ施工を行ってください。

1. 捨て貼り合板(12 mm以上)の上で施工を行ってください。
2. 接着剤は一液ウレタン樹脂系接着剤を使用してください。
3. ステープル釘(38 mm以上)を使用してください。(約 45 度の角度で確実に打ってください)
4. 貼り込みの際、板の並びはきつく締めつけず、スペーサー(0.5 mm厚)で隙間を必ず設け施工を行ってください。スペーサーは部屋の施工が完了するまで入れたままにしてください。スペーサーで隙間を設けない場合、反りや割れが発生します。
5. 壁面には密着させずに 5 mm程度(巾木で隠れる程度)の隙間を設けてください。
6. 床下の防水・防湿処理を行ってください。
7. 床下は換気口を取り付け、床下の換気を良くしてください。
8. 天然無垢製品のため、多少の色違い・反り等があると考えられますが問題はありません。
9. 天然木は常に呼吸をしているため、収縮・膨張は必ず発生します。
10. 実部分への接着剤の塗布は厳禁です。

施工後の注意

1. 表面保護のため、必ず養生シートを全面に敷いて、砂などが入らないように養生してください。ただし床材に直接養生テープを使用することは避けてください。塗装剥離を起こす可能性があります。
2. 養生シートを敷いた後で作業を行う場合は、床材表面に傷をつけないようにフロア養生板でさらにカバーされることをお勧めいたします。
3. 養生する場合は換気をして、湿気が高くならないよう注意してください。特に梅雨時期や夏期は空調も併用してください。
4. ストープ・電気カーペット等をご使用の場合は、狂いや変色が生じる可能性がありますのでご注意ください。
5. 無垢材は絶えず動いております。気候や環境によっては反りや割れが発生することがあります。施工後の保証はしておりませんのでご注意ください。